



さわやかな空気を

～今、私たちの空は・・・～

森の中でおもいきり深呼吸したとき、「空気がおいしい」と感じたことはありませんか。日ごろ、何気なく吸っている空気もいろいろな原因で汚されることがあります。

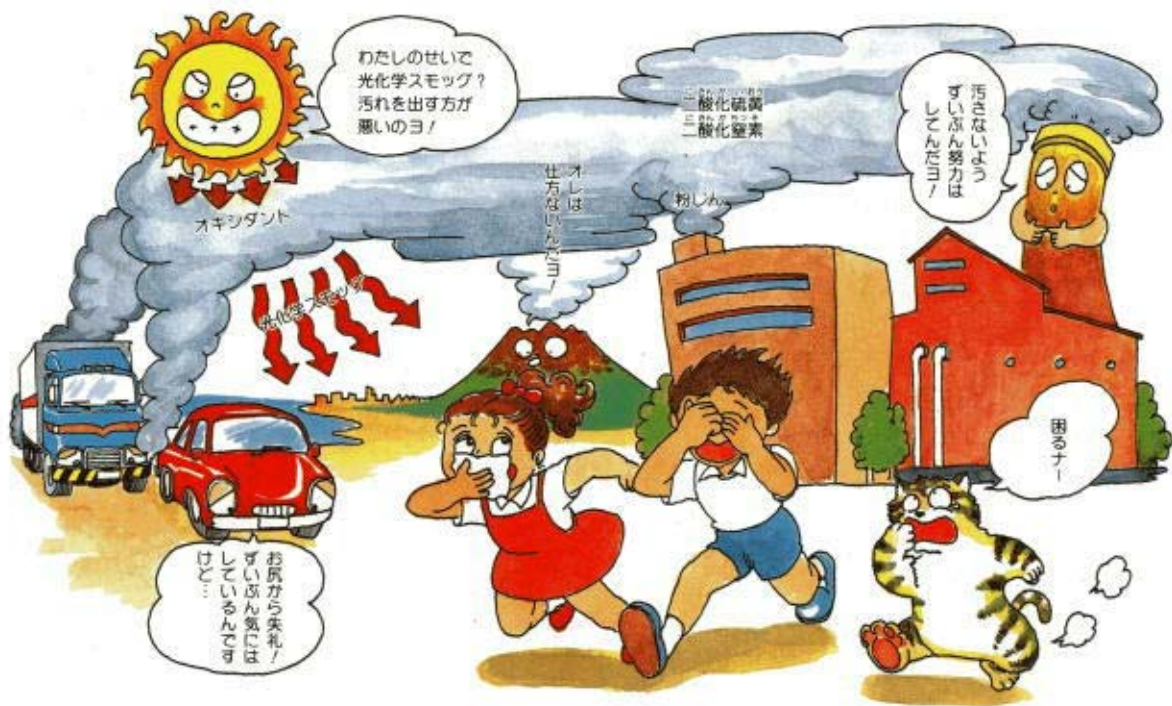
ここでは、空気、つまり大気の流れについて考えてみましょう。

[大気汚染の原因]

私たち人間は、1日に約1万リットル(10m³)呼吸しています。大気汚染とは、この大気の中に、私たちの健康によくない物質(大気汚染物質)が混じりこむことです。

汚染された空気を呼吸すると、のどや肺などに悪い影響を及ぼし、病気を起こすこともあります。

大気汚染の主な原因は、工場やビルの煙突からはき出される煙と自動車の排出ガスです。国は、「二酸化硫黄」「二酸化窒素」「一酸化炭素」「浮遊粒子状物質」「光化学オキシダント」等の9物質について環境基準を定め、大気中の濃度を基準以下に保つようにいろいろな規制を行っています。



二酸化硫黄

重油などに含まれる硫黄が燃えると亜硫酸ガス(SO₂)となり、呼吸器を刺激し、せき、呼吸困難、喘息などを起こすほか、植物を枯らしたりします。

二酸化窒素

石油、石炭等が燃えるときに発生した一酸化窒素(NO)が大気中で酸化されて二酸化窒素となります。光化学オキシダントの原因でもあります。人に対し、肺気腫等の病気を引き起こします。

光化学オキシダント

大気中の窒素酸化物や炭化水素などが紫外線によって光化学反応を起こした結果発生します。光化学スモッグの原因物質といわれています。

～環境と人間とのかかわり～

私たちを取り巻く環境は、動植物などの生き物や大気、水、土などから成り立っています。私たちは、この中の生き物の一員として生活しています。そして、呼吸したり、水を飲んだり、食べたり、他の生物と同じように環境に支えられて生きています。

しかし、空気や水などが汚れたり、植物が育たなくなったりしたら、すべての生き物が生きていくことが出来なくなってしまいます。

このため、私たちは、環境への配慮を徹底し、環境とのふれあいを確保し、環境の恵みを守り育て、豊かな環境を私たちの共有の資産として次の世代へ引き継いでいかなければなりません。